

テーマ「漢字ノートを作ろう」

■漢字の学習の合理化

これまでも漢字を身につける、漢字を覚えることについていろいろな手法が提案されています。基本的には漢字の練習あるいはトレーニング、漢字暗記法という側面が色濃く、それをもって漢字の学習とする部分が大きくなっています。

今回は、漢字の学習の幅を少し広げるということで、ノート作りという観点からセミナーを進行していきます。

ノート作りで大切なことはそのノートに目的や意味を与えることです。漢字ノートを作る上でどのような目的や意味を与えるかを考えてみることは大変有益なことです。

■漢字トレーニングノート

見やすい、集中しやすい、丁寧に練習しやすいノート

■漢字ノートの目的①（トレーニング）

余白をつくる。回数を制限する。手本を丁寧に写す。

漢字練習は苦行です。苦行となる理由はなぜでしょう。考えられる理由は「無機質な作業と化す」だからです。「化す」とした理由は、もともとは楽しいはずなのに、別の条件が付加されたことで、「無機質な作業」になるからです。そうさせる理由は、回数とレイアウトです。回数の多さは飽きを生み、漢字だけがだらだら並ぶのは不格好さを生みます。余白や回数制限、丁寧な書写が改善のヒントになるでしょう。

■漢字整理ノート

下手なレイアウトは組まない。

■漢字ノートの目的（学ぶ・習得する）

漢字の知識とその周辺の知識を整理する。

漢字を書けるようになることと、その漢字を学ぶこと、習得することは別物。1つ1つの漢字に関する情報を集約するノートがあると、漢字の記憶をアシストすることが期待できるでしょう。

例えば、「講」という漢字について、読み方は音読み「コウ」のみ。仲直りする。ときあかす。学習する。議論する。もくろむ。といった意味がある。講義、講話、輪講などの熟語がある。いろいろな情報を整理。

■まとめ

漢字の習得は書けるようになることと覚えることは別物！

「漢字練習」と「漢字を覚える」は別のプロセスということを確認する。

漢字を学ぶ意味を説明する。漢字はそもそも便利なもの。

国語が苦手という人はまず漢字の学習が入り口。入り口だからこそとつきやすさが重要。